北　海　道　乳　牛　産　地　情　報

(令和８年10月１日現在)

事務所	畜　　種	相場（万円）	価格状況	管　　内　　状　　況
札幌管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	２５～３５ ６０～７０ ４５～５５	横這い 横這い 横這い	札幌管内における９月中旬までの生乳生産量の前年比は、函館管内が月計 97.9%、累計 95.2%、苫小牧管内が月計 100.2%、累計 96.8%となっております。 10月に出回る初妊牛は、12月下旬～1月中旬分娩が中心となります。 資源は十分に確保できるため、相場については前月並みの横ばいで推移するものと見込まれます。腹別では、F1 腹、雌雄選別腹ともに偏りなく資源を確保でき、購買に向けて十分に選畜できる状況です。また、雌雄選別腹・F1 腹・和牛受精卵腹のいずれも出回りがあり、高能力牛の選択が可能な地域です。導入をご検討の際は、ぜひお問い合わせください。
釧路管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	２０～３０ ５０～６０ ４５～５５	弱含み 弱含み 横這い	根釧管内における９月中旬までの生乳生産量の前年比は、釧路管内が月計 102.4%、累計 99.6%、中標津管内が月計 102.4%、累計 100.0%となっております。 10月に出回る初妊牛は、12月下旬～1月中旬分娩が中心となります。都府県では夏場の暑熱による影響が比較的軽微で、生乳生産が堅調に推移していることに加え、牛の代替需要が低下したことから、９月の乳牛市場相場は弱含みで推移しました。このため、庭先購買の相場についても弱含みで推移する見込みです。腹別では、F1腹、和牛受精卵移植腹、雌雄選別腹のいずれも、価格は軟調に推移する見込みです。育成牛については、夏生まれを中心とした出回りとなり、相場は弱含みで推移する見込みです。経産牛については、即戦力となる牛への引き合いは引き続き強いものの、相場全体としては横ばいで推移する見込みです。
帯広管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	２８～３８ ６０～７０ ５８～６８	やや弱含み 横這い やや弱含み	帯広管内における９月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計 101.6%、累計 99.5%となっております。 10月に出回る初妊牛は、12月下旬～1月中旬分娩が中心となります。資源は十分に確保可能ですが、道内外からの需要が見込まれることから、相場は横ばいで推移すると予想されます。腹別の資源状況については、雌雄選別腹・F1腹ともに確保可能であり、引き続きF1腹への引き合いが強いと見込まれます。一方、雌雄選別腹との価格差は縮まってきております。経産牛については、道内需要が強く、初妊牛と同程度の価格帯で取引される見通しです。育成牛については、メガ・ギガファームによる導入が引き続き見込まれることから、相場は横ばいで推移する見込みです。
道北管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	２０～３０ ４０～５０ ２８～３８	弱含み 弱含み やや弱含み	道北管内における９月中旬までの生乳生産量の前年比は、稚内管内が月計 100.8%、累計 99.1%、北見管内が月計 103.2%、累計 101.0%となっております。 10月に出回る初妊牛は、12月下旬～1月中旬分娩が中心となります。９月の乳牛市場では、都府県の需要がやや落ち込んでおり、相場はやや弱含みで推移していました。このことから、10月以降の導入需要についても、やや落ち着くものと見込まれます。加えて、資源頭数も十分に確保できることが予想されるため、相場は弱含みで推移する可能性があります。育成牛については、夏分娩期にあたる月齢牛の出回りが中心となり、相場は弱含みで推移すると予想されます。経産牛についても、初妊牛の導入需要が落ち着くことから、やや弱含みで推移すると予想されます。
道内総括	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	２８～３８ ５０～６５ ４５～６５	やや弱含み 弱含み やや弱含み	道内全体における９月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計 101.8%、累計 99.6%となっております。 10月の出回りについては、12月下旬～1月中旬分娩の牛が中心となります。資源が潤沢な時期となることから、出回り頭数は増加する見込みです。一方、都府県の生乳生産状況によっては導入需要が不安定となることも考えられ、相場は軟調に推移する可能性があります。また、初妊牛の相場動向に伴い、経産牛や育成牛の価格にも影響が及ぶことが考えられるため、今後の相場動向には注意が必要です。一方で、導入に向けた資源は十分に確保できる見込みですので、導入計画がございましたら、お近くの全酪連までお問い合わせください。

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

札　幌　支　所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《　各　事　務　所　電　話　番　号》
釧路事務所　☎（0154）52-1232
根室駐在員事務所　☎（0153）76-1877
帯広事務所　☎（0155）37-6051
道北事務所　☎（01654）2-2368